

令和元年度 有田町立曲川小学校
子どもたちのための生活アンケート【保護者回答分】の結果

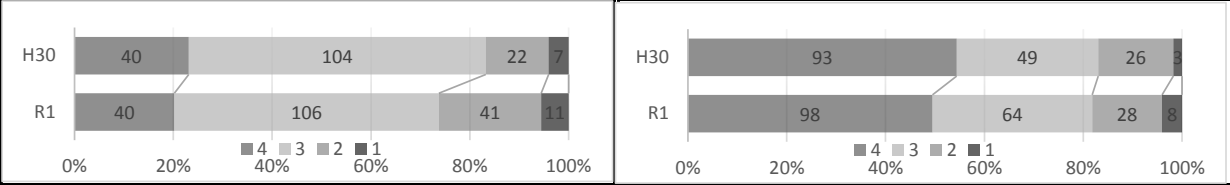
回収率95%(198枚/208[総長子数])

データの見方
 各項目ごとに、左側が学校の取り組みに対する評価、右側がご家庭での取り組みの評価になります。
 グラフは、上段に今年度の評価の割合を、下段に昨年度の評価の割合を表しています。
 アンケートの対象は長子家庭で、今年度は208世帯、昨年度は198世帯となっています。

評価の項目(学校)	評価の項目(家庭)
-----------	-----------

1. 教育目標

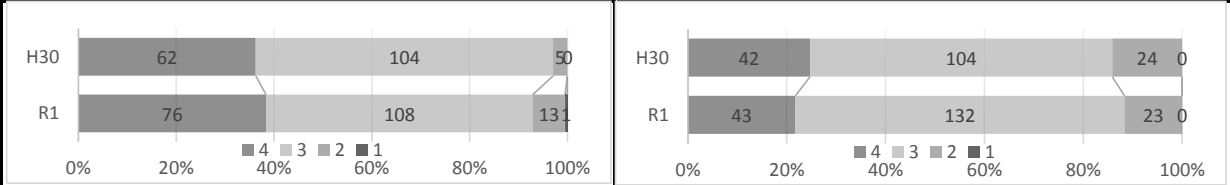
学校の教育目標を知っていますか。 一心身ともに健全で、自ら考え行動し、 豊かな人間性をもつ子どもの育成-	4 よく知っている 3 だいたい知っている 2 あまり知らない 1 知らない	学校教育目標が、学校だよりの見出しに 毎回入っていることに気づいていましたか。	4 気づいていた 3 そうだったように思う 2 よくわからない 1 全く知らなかった
--	---	--	---



【考察】
 教育目標の周知については、学校だよりの「若草」、ホームページを中心にお知らせしているところです。「4」「3」の評価を合わせた割合が80%を少し下回り、昨年度より若干下がっていますし、目標とする90%にはまだまだ届いていない現状です。学校教育目標の周知が不十分であった点を反省し、子どもたちの姿で学校教育目標が地域の方々、保護者の皆様にと届くようにより一層取り組んでまいります。

2. 確かな学力

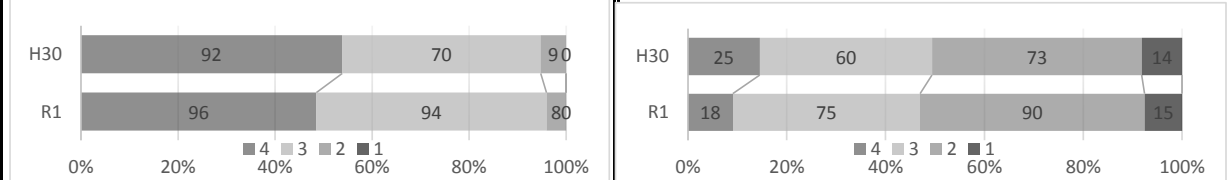
学校は、学力を身につけさせるために努力していると思いますか。(授業の工夫・デジタル教科書やICTの活用・個人指導・家庭学習の内容等)	4 思う 3 だいたい思う 2 あまり思わない 1 思わない	お子さんが家庭学習にしっかり取り組めるように、学習環境を整えるよう努めていますか。(音読を聞いてあげる・勉強している時テレビのスイッチを切る等)	4 よくしている 3 だいたいしている 2 あまりしていない 1 していない
--	---	--	---



【考察】
 学力の向上については「4」の割合が少し高くなったものの、「4」と「3」を合わせると昨年度より少し低くなっており、とはいえ、良好な評価をいただいています。家庭の方でも9割近く家庭での学習環境整備に取り組んでいただいています。この家庭での取り組みをしっかり意識し、学校においてもより確かな学力を育むために「わかる・できる・楽しい」授業をめざして、私たち職員一人一人が学力向上に取り組んでいきたいと思ひます。
 今後も、学校の取組にご理解をいただき、家庭と連携し、子どもたちの学力向上を目指してまいります。

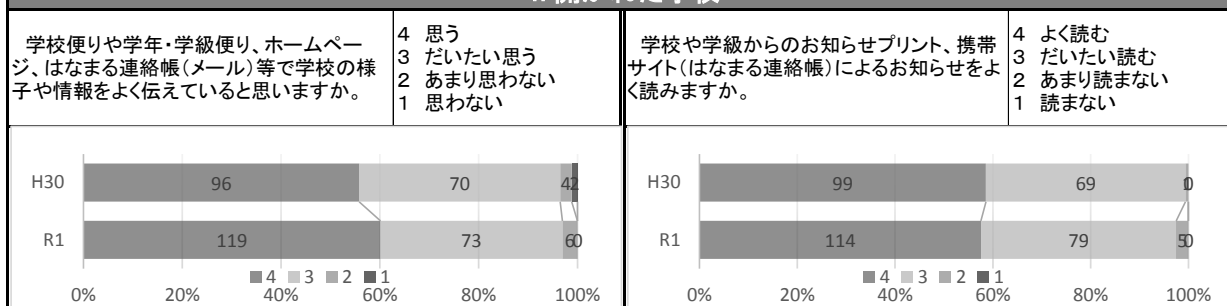
3. 読書指導

曲川小では、読書推進のために図書室の改善や蔵書の充実に取り組んでいます。また、読書タイムは読み聞かせや本の紹介等を始めました。学校は、読書の奨励・指導をよくしていると思いますか。	4 思う 3 だいたい思う 2 あまり思わない 1 思わない	お子さんが借りてきた本を把握したり、読書を家族で楽しんだりして、お子さんが読書に親しめる環境を作っていますか。	4 しっかりしている 3 ときどきしている 2 あまりしていない 1 していない
---	---	---	---



【考察】
 月1回の読み聞かせで本に親しませたり、集会活動では図書委員会から選書の紹介をしてもらったりと読書環境を整える活動に取り組んできました。「外で元気に体を動かすこと」と「読書に勤しませること」で指導が難しい面もありますが、運動も読書も質量ともに伸びるように目指してまいります。図書室の利用に関しては、読書だけでなく、調べる学習の場としても積極的に利用しています。今後は、発達段階にあった選書、色々な種類の選書、質的な読書指導の推進に努めていきたいと考えています。ご家庭でも、「ノーテレビ・ノースマホ・ノーゲームデー」を設定されて、読書や家族団らんの日として利用していただけたら幸いです。

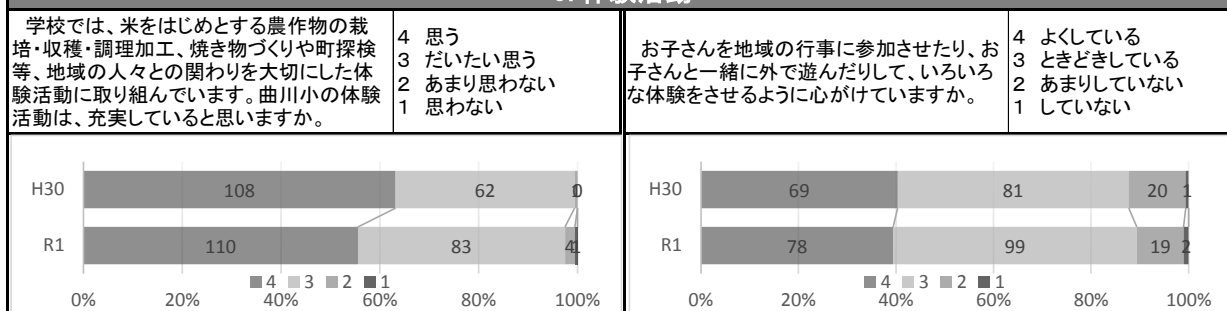
4. 開かれた学校



【考察】

学校だよりをはじめ、はなまる連絡帳等々で学校からたくさんの情報をご家庭へ送られていることと思います。たくさんの情報にもかかわらず、日ごろから興味・関心を持っていただいていることに感謝します。保護者の皆さまが、学校に常に目を向けていただいていることを自覚し、今後も学校・学級の様子が伝わるように情報発信していきたいと考えています。必要で適した時期の情報発信を目指して今後も努力していきます。

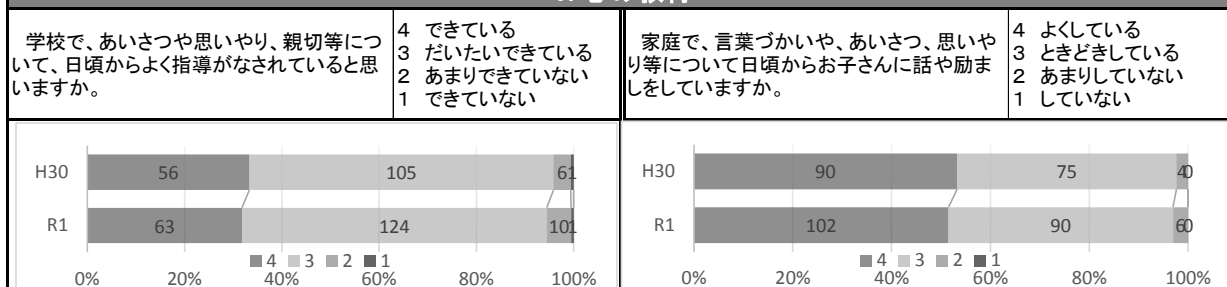
5. 体験活動



【考察】

地域の伝統文化・産業である焼き物づくりの体験をはじめ、米づくり・野菜づくりといった栽培活動、5年宿泊学習における自然体験活動など学年の発達段階に応じた体験活動を実施しています。子どもたちは体験活動を通し、苦労や感謝を学ぶ機会となっています。授業時数の確保をしつつ、家庭や地域と連携して実りある豊かな体験を実施できるように計画していこうと考えています。

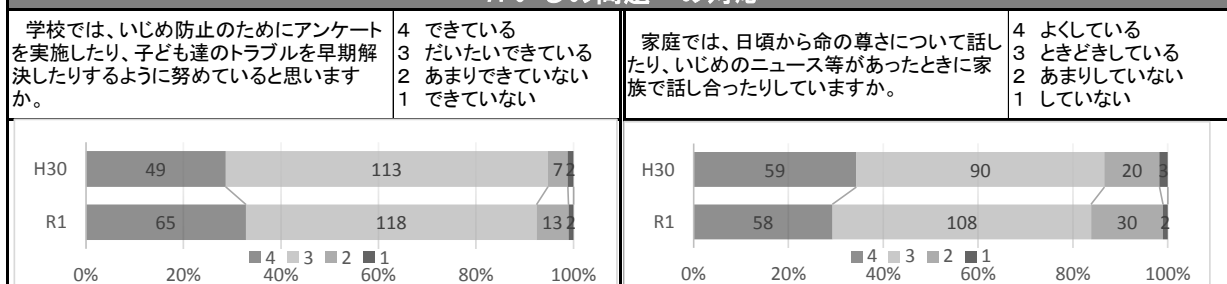
6. 心の教育



【考察】

学力向上と並んで豊かな心の教育にも学校教育では重視しています。思いやりの心、感謝する心等々も道徳教育をはじめ、学校教育全体において取り組んでいます。取り組みを周知していることが今回の評価となっていることと思います。ただし、あいさつに覇気がない、自分から地域の人に挨拶しないといった声も聞かれます。今後は、さらに心を育み、望ましい生活習慣を身に付けられるように学校と家庭、地域が協力し合って指導ができればと考えます。

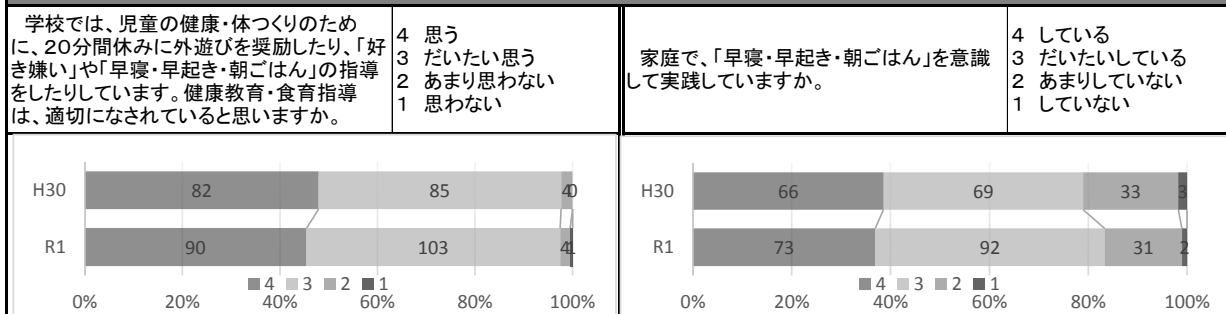
7. いじめ問題への対応



【考察】

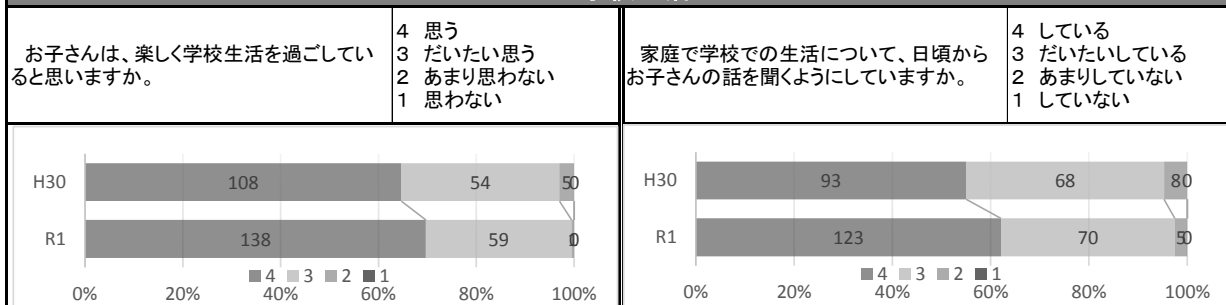
今年度は年に2回(6月、11月)、児童・保護者を対象にいじめの実態調査を行いました。毎月「心のアンケート」を提出させ、子どもたちの困ったことを把握する機会を設けて、いじめの早期発見・早期対応を行っております。今年度は、今のところ6件のいじめ事案を認知しました。昨年度が19件でしたので、ずいぶん減っています。不登校もほとんどなく、保護者、家庭の協力に心から感謝いたします。また毎週月曜日には子どもたちの現状について共通理解を全職員で行っているところです。これからも、よりいじめを見つけてアンテナを高くし、感性を豊かにするとともに誰もが相談しやすい雰囲気づくりに努めながら、いじめ防止の実践を続けていきたいと思っています。

8. 健康教育



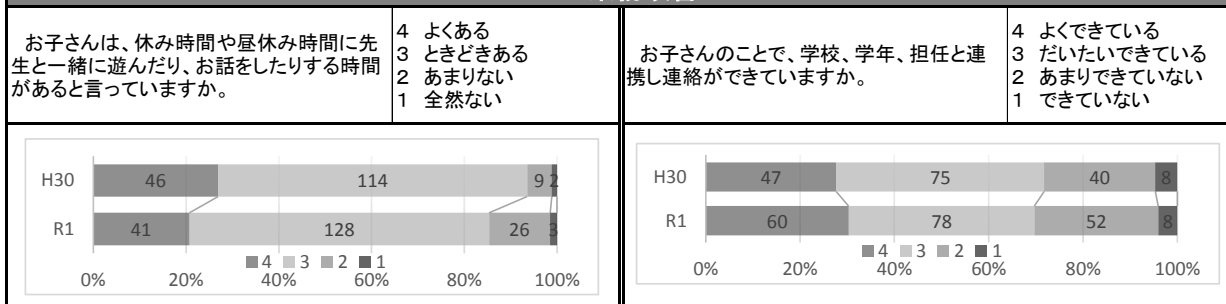
【考察】
 普段から運動する子とほとんど運動をしない子の二極化が本校においても見られます。天気の良い日には、外でいろいろな遊びを経験できるように、声をかけながら体力向上を図りたいと考えます。
 食育指導については栄養教諭と食育担当教諭を中心に、全学級授業実践を行い、子どもたちのよりよい食生活の在り方について指導を行いました。今後も、健全な身体を作るために、「運動」と「食育」指導に継続して取り組んでいきます。

9. 学校生活



【考察】
 子どもたちが毎日元気に登校し、笑顔で元気に自宅へ帰ることが一番の願いであることは、教職員と保護者、そして地域の皆様も同じ気持ちであると考えます。保護者の皆さんが、子どもたちの姿を見られて、学校生活を楽しんでいると感じられていることが結果に表れており、職員全員が安心をしました。また、昨年度に比べ、「4」の割合が増え、「2」や「1」がないことを嬉しく思います。学習内容が難しくなったり、人間関係の難しさを感じたりすることもあると思いますが、それでも元気に登校してくれている子どもたちのがんばりにたくましさを感じます。今後も、子どもたちが楽しく学校生活を送りつつ、心身ともに健やかに成長するよう皆様の協力を得ながら、職員一丸となってしっかり見守り支援していきたいと思ひます。

10. 業務改善



【考察】
 学校において、子どもたちとじっくり向き合う時間や場の確保が十分でない結果が「4」の割合に表れており、今年度も改善できていません。勉強や友だちのこと、将来のこと等々、子どもたちが話したいこと、相談したいことがたくさんあるにもかかわらず、一人一人の子どもとじっくり向き合う時間や場の確保できておらず、子どもたちに申し訳ないばかりです。ただ、全員の子と少しでも語り合う場が確保できるように、今年度は学校行事、校時等を見直し、教育相談週間を年に数回設定しました。それでもなお、じっくり向き合うことができない現状ですので、家庭でその分をぜひ補っていただき、地域と共に子どもたちをサポートしていきたいと考えます。